

Free R rail

住宅用屋外手すり フリーRレール

取扱説明書 / 施工要領書

ベースプレート式 S支柱/Sエンド支柱

BJ-219ST/BJ-220DB BJ-211ST/BJ-212DB

このたびは当社商品をお買い求めいただき誠にありがとうございます。
ご使用前に本書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
お読みになった後もすぐ取出せる場所に大切に保管してください。

【施工業者様へ】

施工後は、お客様に必ず本書をお渡しください。

【お客様へ】

本書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。
不適切な使用により事故が発生した場合、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
転居される場合、次に入居される方に本書をお渡しください。

マークの種類について

- ⚠ 警告 死亡または重傷を負う可能性がある内容
- ⚠ 注意 軽傷または物的損害が発生する可能性がある内容
- 🚫 禁止行為
- ❗ 必ず行う

 本製品のアルミダイキャスト部分には再生アルミ合金を使用し、
地球環境への配慮を行っております。

 マツ六株式会社

〒543-0051 大阪市天王寺区四天王寺1丁目5番47号
TEL: 06-6774-2255 FAX: 06-6774-2248
<https://www.mazroc.co.jp/>

2024年10月1日改定【02】

警告

⊘ 強い衝撃を与えない。

本製品に物をぶつかけたり、強い衝撃を与えない。手すりが破損し、思わぬケガの原因になる。



⊘ 破損があるものは使わない。

手すり部分にささくれ、大きなへこみ等の破損がみられた場合はすぐに使用を止める。手にケガをする恐れがある。



⊘ 製品に乗ったり、ぶら下がらない。

本製品に乗ったりぶら下がらない。手すり棒がたわんだり、支柱やブラケットが破損し、思わぬケガの原因になる。



⊘ 火を近づけない。

本製品にタバコなどの火を近づけない。変形、変色の原因になる。



⊘ 製品に無理な力を加えない。

本製品を無理に押ししたり、引いたりしない。手すり棒が曲がったり、支柱やブラケットが破損し、思わぬケガの原因になる。



⊘ 支柱のカット以外で製品を分解・改造しない。

固定部のボルト等をゆるめたり、製品を分解・改造したりしない。使用時に脱落したり予期せぬ故障の原因になるばかりか、重大事故につながる場合がある。



⚠ 本製品にささくれ等の破損がみられた場合はすぐに使用を止めて、施工店またはマツ六まで相談する。



お手入れ方法

利用者用

ふだんはやわらかい布で拭く。汚れがひどいときは、中性洗剤をしみこませた布で拭き、その後水拭きをする。仕上げに乾拭きをして、水分を完全に除去する。汚れが目立たないうちから、こまめなお手入れを行うこと。

注意

⊘ 酸性、アルカリ性洗剤は使用しない。

酸性、アルカリ性洗剤、ベンジン、シンナー等はツヤがなくなったり、変形、変色の原因になるので使用しない。



⊘ クレンザー、磨き粉は使用しない。

クレンザーや磨き粉など粗い粒子を含んだ洗剤、ナイロンタワシなどの傷を付けやすいものは使用しない。



❗ ブラケット(支柱)ピッチは下記寸法を必ず守る。

支柱ピッチは上部支柱の芯～芯で計測する。

曲がる手すり棒の場合

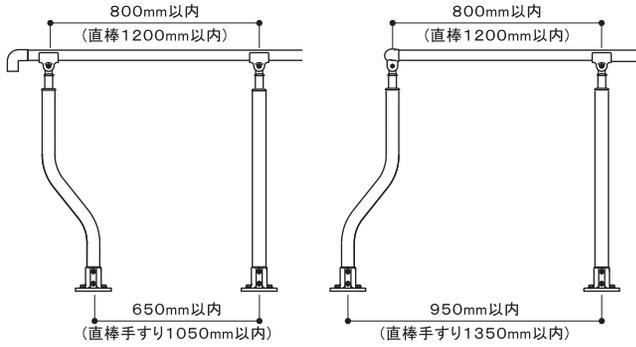
- ブラケット(支柱)3個以上使い …800mm以内
- ブラケット(支柱)2個使い(1スパン) …700mm以内

※支柱は必ず2本以上使用して手すりを取付けてください。

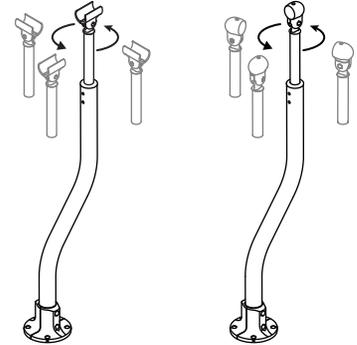
直棒手すりの場合

- 1200mm 以内

●ブラケット(支柱)3個以上使い

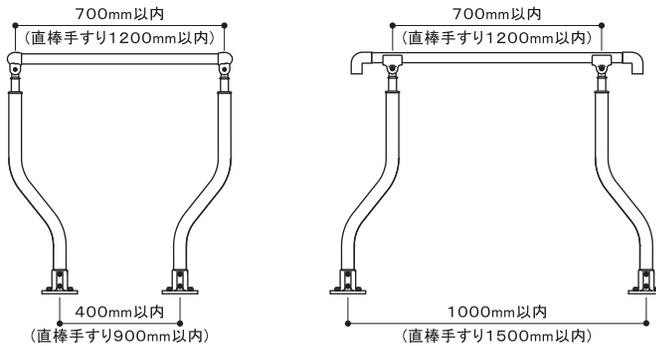


●上部支柱はどの向きを向いても構わない。

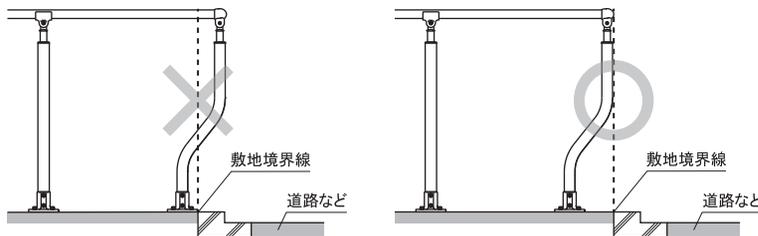


⚠ 警告

●ブラケット(支柱)2個使い(1スパン)

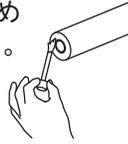


⊘ 支柱が敷地境界線を越えてはいけない。

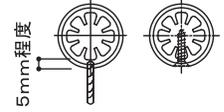


- ❗ 曲がる手すり棒を使用する場合は必ず防水パッキンと錆び止めローバル(別売)を使用する。

腐食や変色の原因になる。



- ❗ 直棒手すりを使用する場合は手すり芯材のリブとの干渉を防ぐ為、下穴の切削は深さ5mm程度で止め、手すり棒固定用のねじを打つと施工がしやすい。



- ❗ 手すり棒を仮止めする際は、必ず2本(個)以上の支柱(ブラケット)へ手すり棒をのせて作業を行なう。

ねじや支柱(ブラケット)が破損する原因になる。

- ⊘ 直棒手すりは曲がらない。

曲げる際は「手すり棒」を使用する。

〈手すり棒断面〉 〈直棒手すり断面〉



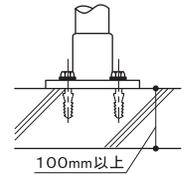
- ⊘ 手すりをブラケット(支柱)に取付けた状態で手すりを曲げない。

ブラケット(支柱)が破損する原因になる。



- ❗ ベースプレート式支柱及び、勾配対応式支柱は床面のコンクリート厚に注意する。

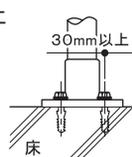
コンクリート厚が100mm以上無い場合は取付けできない。十分な強度がでない。



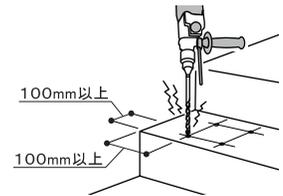
⚠ 注意

- ❗ 壁とアンカー位置は30mm以上はなす。

チョークラインは65mm以上(タイル目地に合わせる場合は80mm以上)はなす。壁からアンカーを充分にはなさない場合、十分な強度が出ない場合がある。



- ❗ ヘリあき寸法は100mm以上はなす。



- ❗ 施工時製品に付着した切り粉は速やかに清掃する。

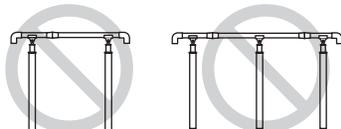
表面にキズがつき腐食の原因になる。



- ⊘ 支柱及び、ブラケットはコンクリート下地以外に取付けない。

- ⊘ ジョイントは最小限の数で取付ける。

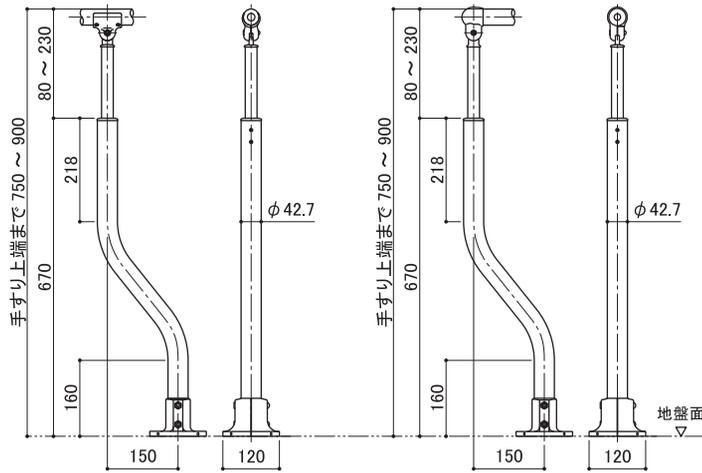
手すり棒ジョイントは、手すり棒の定尺寸法(2m材、3m材)及び直棒手すりの定尺寸法(2m材、4m材)を考慮し、最小限の数量とする。また、手すり全長が定尺寸法内の場合はジョイントをしない。



- ⊘ 六角穴付き止めねじは仮止め時に強く締付けない。

六角穴付き止めねじは仮止め時に強く締め過ぎると支柱にねじ跡が付くことがある。施工が完了するまで、本締めしない。





品名:フリー Rレール ベースプレート式S支柱 / Sエンド支柱

材質:支柱 / アルミ合金・アルミ型材、ブラケット / アルミ合金
ベースプレート / アルミ合金

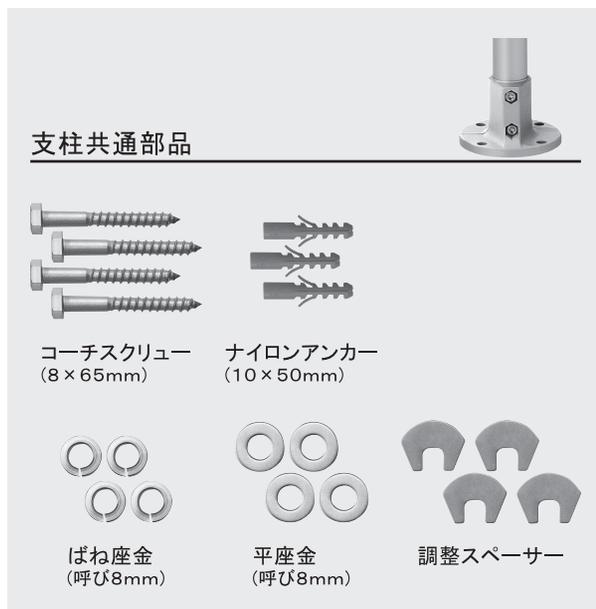
原産国: 日本

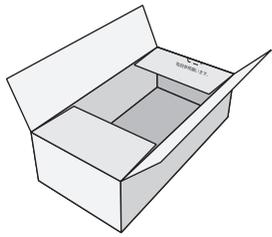
寸法: 図参照

※ 材質の特性と製造の関係上、カーブ部分の内側に小さなシワが入ります。強度に問題はありませんので、あらかじめご了承ください。

(単位: mm)

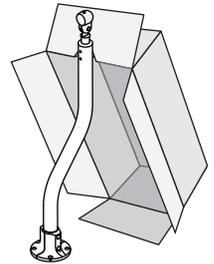
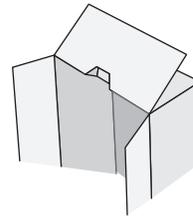
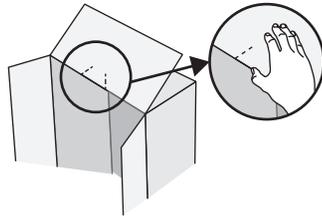
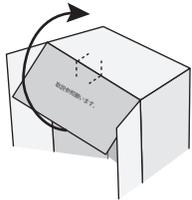
使用する支柱の付属品を確認する。



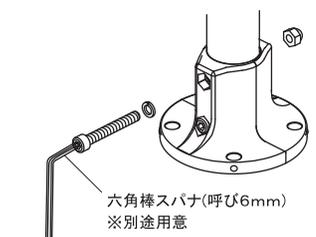
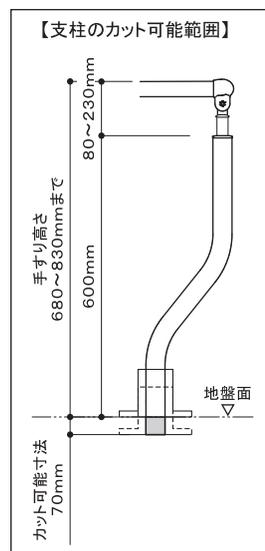
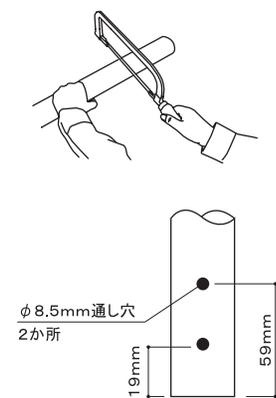
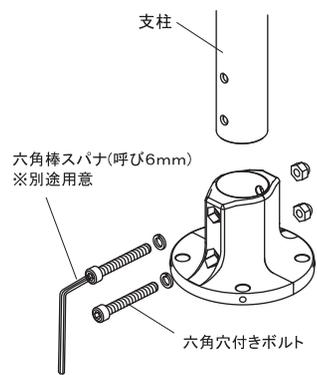


- 梱包箱は、S支柱 / Sエンド支柱の施工時に補助具として活用できます。
- ※ あくまでも施工時の補助具であり、完全に支柱を支持することはできません。支柱が倒れた事による返品は受けかねますので、あらかじめご了承ください。

- ① 梱包箱の文字のある面を開く。
- ② ミシン目に沿って梱包箱を破る。
- ③ 押し込んで、くぼみをつくる。
- ④ 支柱を立て掛ける。



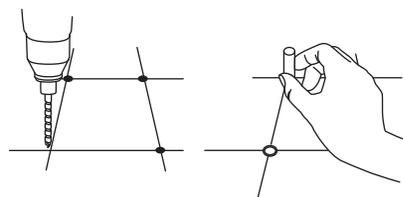
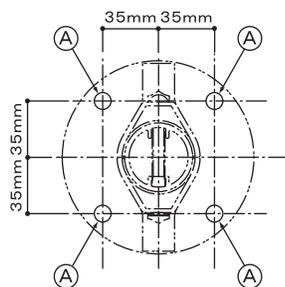
- ① 六角棒スパナ(呼び6mm)でベースプレートの穴付きボルトをはずし支柱を抜く。
- ② 金ノコ等で希望の長さにカットし、ベースプレート固定用の穴(φ8.5mm)をあけ直す。
- ③ ベースプレートに支柱を差込み、六角穴付きボルトで固定する。



- ❗ ボルトを締め直す時は、締付トルク 10N・m以上で締付ける。

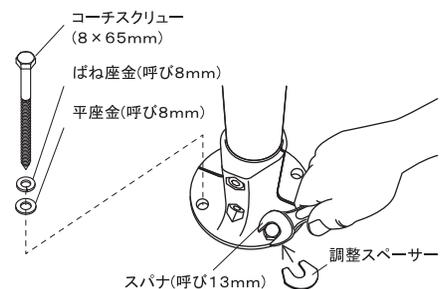
- ❗ 必ず支柱の下面をカットする。
- ⊘ 支柱は70mm以上カットしない。

- ① 設置位置を決め、下図に基づき下穴位置A点を記す。
- ② マーキングしたA点に振動ドリル(φ10mm)にて、深さ55mmの穴をあけ、付属のナイロンアンカーを挿入する。



- ❗ アンカー穴はナイロンアンカーを挿入する前に充分に掃除して削りくずを取り除く。ナイロンアンカーは地面より出ないように挿入する。

- ③ ベースプレートを固定する。



水勾配等により支柱が垂直に立てられない場合は、調整スペーサーを地面とベースプレートの中に入れる。対応水勾配は1/50まで。

- ❗ 調整スペーサーは1か所につき2枚までとする。ベースプレートが損傷する恐れがある。

施工手順 化粧カバー（別売）の取付方法

施工者用

化粧カバー

※手すり棒の固定を行う前に、支柱に通しておく。

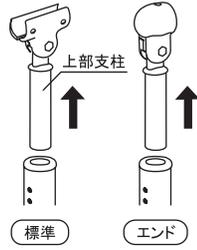


BJ-12
BJ-114DB

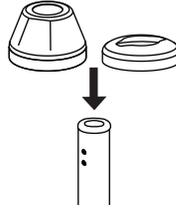


BJ-203
BJ-204DB

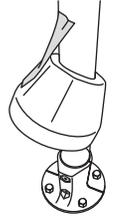
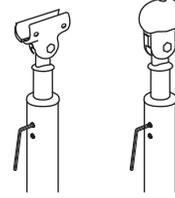
①上部支柱をはずす。



②カバーをはめる。



③高さ調整後、各ねじを締付けてもどす。



カバーはテープ等で支柱に仮止めする。

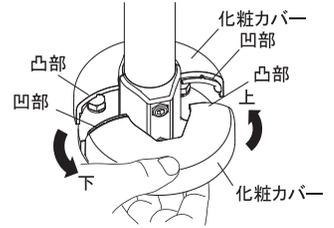
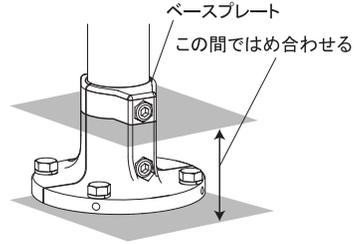
化粧カバー後付け

※施工後にも取付けることができる。



BJ-143ST
BJ-144DB

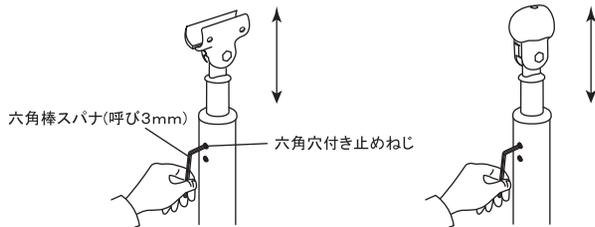
ベースプレートの上段の六角穴付きボルトよりも下の位置で、形状に合わせて挟み、凸部が上、凹部が下になるように化粧カバーを少し回転させて凸部と凹部をはめ合わせる。



施工手順 高さ調整の固定方法

施工者用

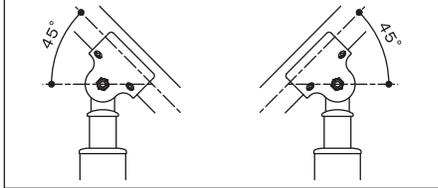
高さを決めて六角穴付き止めねじ(2か所)を固定する。



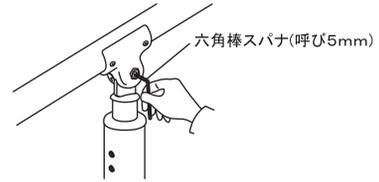
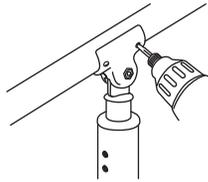
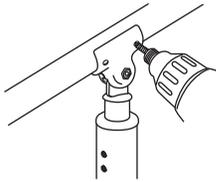
⊘ 六角穴付き止めねじは仮止め時に強く締付けない。
支柱にねじ跡が付くことがある。施工が完了するまで、本締めしない。

標準

【角度調整範囲】

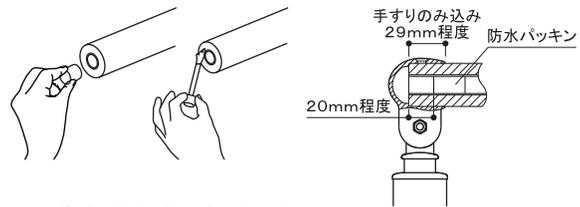
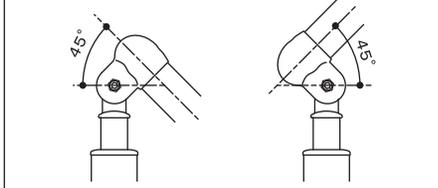


- ① φ3.3mmの下穴をあける。 ② 皿ドリルねじ(4×25mm)で固定する。 ③ 六角棒スパナ(呼び5mm)で首振り角度を固定する。



エンド

【角度調整範囲】



❗ 曲がる手すり棒を使用する場合は必ず防水パッキンと錆び止めローバル(別売)を使用する。

- ① φ3.3mmの下穴をあける。 ② 皿ドリルねじ(4×25mm)で固定する。 ③ 六角棒スパナ(呼び5mm)で首振り角度を固定する。

